

令和7年度 第5回 有玉小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 2026年2月17日(火)10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 有玉小学校 図書室
- 3 出席委員 石田 隆康、中村 佐佳恵、山本 恭子、松原 廣、村田 実佳
高林 愛子(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 高林 和行
- 5 オブザーバー 小池 誠(積志協働センター)
- 6 学 校 伊藤 千恵(校長)、上野 仁悟(教頭)、本樫 俊介(主幹教諭)
中城 幸之助(CS 担当教員)、安村 有季子(CSディレクター)
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 安村 有季子
- 9 議長の選出

前回の協議会において、村田委員が次回の議長を務める旨の申し出があったことを確認し、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1)令和7年度 いじめ対応について
- (2)令和8年度 学校運営方針についての説明
- (3)学校運営委員会 自己評価について

11 会議記録

司会から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)令和7年度有玉小学校のいじめ対応について

○本年度の有玉小学校のいじめ対応や来年度に向けての方針について、本樫主幹より説明があった。

○議長の指示により、本年度の有玉小学校のいじめ対応について、また、来年度に向けて、委員の意見を聞き、以下の発言があった。

- ・「学校は子供の思いに寄り添い、適切に対応している」のアンケート結果で、「あまりできていない」「できていない」が数%いる。(石田委員)
- ・いじめの定義が昔と違っており、全て対応している。学期毎にアンケートを取り、担任はアラートが出た場合は、児童に聞き取り、組織で対応している。(主幹教諭)
- ・いじめアラートはどのくらい出るのか。(高林委員)
- ・毎月アンケートを行うなど、もう少し短い周期で行った方がよいのでは。(石田委員)
- ・アンケート以外にも、児童がその都度、心配なことを言える機会はあるのか。(村田委員)
- ・アンケートだけではなく、親御さんから情報提供があったり、周りの児童から相談があったり、毎日様子を観察して、少しでも違った様子が見えたら声をかけるなど、対応をしている。高学年は他の教員が授業に入った際にも児童の様子をみて、担任に確認したり、助言をしたりして、担任一人だけに任すのではなく、組織で対応をしている。(主幹教諭)
- ・解消した後の対応について、その後の学年でも把握してもらっているか、保護者としては心配がある。(村田委員)
- ・学年が上がる際の引継ぎは大事にされていて、子供が安心安全に学校に来られることを、一番にしている。(主幹教諭)

- ・ いじめ未然防止ということで、友達の良いところを見つけるなどしていくのが良い。保護者の方がずっと心配になってしまうので、次の学年に上がる時の引継ぎをしっかりといただきたい。(中村委員)
- ・ 見えないところでのいじめは怖い。先生たちの対応が一番だ。(山本委員)
- ・ タブレットの授業でインターネットやラインに関しての授業はあるのか。(高林委員)
- ・ 情報モラルはやっていかないといけない。タブレットを児童に貸し出す前に、貸し出し条件として、必ず情報モラルの授業は入れるように職員研修をしている。道徳の授業の中でもそういった内容がある。継続的にやっていく。(主幹教諭)
- ・ 小学生がインターネットやラインで傷ついてしまうことがあるので、親も責任を持って教えないといけないが、学校からもプリント配布や、さくら連絡網などで発信してもらえたら、意識が変わるかなと思う。(高林委員)
- ・ 人によって受け取り方が違うので、文章を読んでそれぞれの受け取り方をみんなの前で発表し合うなどしたら、ラインで送った文章が、その文章で相手が傷つくかもしれないと気付かせることができるかもしれない。(石田委員)
- ・ 家族とふれあいデイは、ふれあいウィークにしてはどうか。(石田委員)

(2) 令和8年度学校運営方針についての説明

○令和8年度学校運営方針について校長より説明があった。

○議長の指示により、令和8年度学校運営方針について、委員の意見を聞き、以下の発言があった。

- ・ 学校方針は、ベースが正しいということを前提に継続して、更にブラッシュアップできたら良い。(石田委員)
- ・ 合言葉が素晴らしい。子供たちにもとても浸透しているし、先生もわかりやすく話してくださる。ボランティアさんにもこの合言葉を使ってもらい、合言葉で児童を褒めると子供たちもうれしそうなので、来年もたくさん褒めてあげたい。(高林委員)
- ・ 保護者も合言葉をしっかり理解し、家でも使ってあげたい。(村田委員)
- ・ 来年度の学校説明会でも、そのところをクローズアップして説明していきたい。(校長)
- ・ 運動会でなぜ順位を付けないのか。順位を付けた方が励みになる子もいるのではないのか。(松原委員)
- ・ 体育科の目標が、「生涯に渡ってスポーツに親しむ気持ちを育てる」ことにある。そういった心を育てることを一番の目標にしているので、小学校段階でどのあたりまで求めるかを考えていきたい。(教頭)
- ・ 琴の授業にボランティアが入った際も、「やってみよう」「できた」の合言葉通り、みんな短い時間だったが、最後まで弾くことができ、児童が達成感を感じていた。これからもグランドデザインの「徳」を大事にしてほしい。(中村委員)
- ・ 合言葉がみんなに浸透していて、「学校が好き」、「有玉が好き」という子供たちがみられるので、大人になっても「故郷大好き」という子供をもっと増やしていけたらと思う。(山本委員)
- ・ 来年度の重点の一つには、50周年が近づいていることもあり、ぜひ「有玉小が大好き」という子を増やしていきたいと思っている。(校長)

○学校運営の基本方針について、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営委員会自己評価について

○会長の指示により、学校運営委員会自己評価について、意見交換を行い、意見を以下のようにまとめた。

〈評価項目1〉学校運営の基本方針について熟議することができたか

熟議することがよくできた。

〈評価項目2〉承認した学校方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動について熟議を進めることができたか

大変よくできた。

〈評価項目3〉協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか

学校ホームページ、有玉小だよりなどで情報発信はできたが、まだ知らない人が多いと思う。

情報発信の方法を考え、コミスク便りに QR コードを付けて、そこから学校のホームページの学校運営協議会のページに飛ぶ、などの工夫が必要。

〈評価項目4〉今年度の評価を踏まえた来年度の目標

子供たちと関わる機会を増やし、先生方との意見も行って、委員自身の教育現場への理解向上を図りたい。学校支援における、学校、地域、家庭の役割を明確にし、地域との連携を強化していきたい。

(4) 報告

①学校支援活動について、学校支援コーディネーター(高林愛子)より説明があった。

・12月～活動報告

CS 研修会、冬の掲示板作成、1年生昔の遊び、6年生夢講話、4年生琴の授業、昼休み安全サポート、ひまわり学級の支援

・2月～活動計画

図書室の蔵書点検、本読みボランティア トロの会、春の掲示板作成、昼休み安全サポート、ひまわり学級の支援、来年度の支援の計画を先生と確認、新1年生の集団下校の安全サポート、新1、2年生の給食サポート、1年生朝顔植えサポート、2年生野菜苗サポート、2026年度の有玉っ子サポーター募集について、来年度のひまわり学級の支援の計画

②コミスク便り第2回発行について、CS ディレクター(安村)より説明があった。

③通学路整備要望について、教頭より説明があった。

④「夢育やまらいか CS 加算分」についての報告が教頭よりあった。

12 その他

○来年度の CS 組織について、校長より説明があった。

○来年度の学校運営協議会の日程について、教頭より説明があった。